

第2期 伊賀市子ども・子育て支援事業計画

【2020(令和2)年度】 事業進捗状況調書

- ☆達成率について
6段階評価（達成率）
- A A（計画の内容を100%を超えて実施）
 - A（計画の内容を100%実施）
 - B（計画の内容を70%以上100%未満実施）
 - C（計画の内容を50%以上70%未満実施）
 - D（計画の内容を50%未満実施）
 - E（計画の内容を未実施）

伊賀市健康福祉部こども未来課

目 次

目標実現のための施策

1. 地域における子育て支援事業の充実	
1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供	1
1-2 児童の放課後の過ごし方への支援	5
1-3 地域における多様な子育て支援の充実	6
1-4 子育て家庭への経済的負担の軽減	8
2. 安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり	
2-1 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進	10
2-2 小児救急医療体制の充実	17
2-3 子育ての相談・支援体制の充実	18
2-4 家庭や地域の教育力の向上	20
3. 子どもの健全育成を推進するための体制づくり	
3-1 子どもの人権擁護の推進	25
3-2 要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進	27
3-3 子育て交流の推進	33
3-4 子どもが健やかに成長する環境づくり	37
3-5 子どもをとりまく貧困対策の推進	41
4. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	
4-1 職業生活と家庭生活との両立支援	45

計画の目標値等

2. 幼児期の学校教育・保育	47
3. 地域子ども・子育て支援事業	48

1.地域における子育て支援の充実

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
1	1・地域における子育て支援事業の充実	①保育サービスの充実	48	一時保育（一時預かり）事業	保育幼稚園課	保護者の疾病や育児疲れ、一時的に家庭で保育できない場合等、一時保育（一時預かり）事業が必要な地域での保育所（園）において保育を実施します。保護者が利用しやすいよう情報の提供、環境を整えます。	延利用者数	3,229	3,150	人	公立保育所（園）7か所、私立保育園9か所の計16か所で実施します（延利用者数は曙保育園における休日の一時保育利用者数を除く）。					2,827	量の見込みに基づく目標値設定
2			48	一時保育（幼稚園預かり保育）事業	保育幼稚園課	保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施を推進します。	延利用者数	4,753	11,712	人	幼稚園及び認定こども園において、在園児の保護者の申出によって、降園時間後も引き続き預かり保育を実施します。					10,294	量の見込みによる目標値設定のためこれまでの実績との隔たりが大きい。
3			48	延長保育事業	保育幼稚園課	保護者の多様な就労形態に対応するため、延長保育事業が必要な地域での保育所（園）において通常の保育時間を超えて午後7時まで保育を実施します。	利用者数	18	20	人	公立保育所（園）9か所、私立保育所（園）8か所の計17か所で実施します。					18	量の見込みに基づく目標値設定
4			49	休日保育事業	保育幼稚園課	休日保育事業が必要な地域での保育所（園）において日曜日、祝祭日の保育を実施します。	延利用者数	718	600	人	曙保育園で日曜、祝祭日における保育を実施します。曙保育園への入所の有無に関係なく利用できます（延利用者数は休日の一時保育利用者数を含む）。					600	
5			49	日本語を自然に学べる教育・保育の充実	保育幼稚園課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	箇所数	30	30	所（園）	日本語を身近に親しめる保育環境を整えるとともに、毎週1回保護者と一緒に、或いは保育士と一緒に絵本を選ぶ貸し出しを実施します。					29	
6			49	日本語を自然に学べる教育・保育の充実	学校教育課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	一人当たりの絵本貸出冊数	10	10	冊	保護者と一緒に絵本を選んだり、友だちと一緒に選んだりして、毎月1冊幼稚園の本を借りて家庭で読めるようにします。					12	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
7			49	外国につながる りのある保護者 に対する相談 体制の充実	保育幼 稚園課	外国につながる りのある保護者 に対し、おたよ りの翻訳や相談 時の通訳をする ために通訳を配 置します。	人数	1	1	人	外国につながる りのある保護者 に分かりやすい ように、毎月のお たよりやクラスだ よりの翻訳をし ます。また、相談 時や家庭訪問時 の通訳を実施し ます。				1	
8			49	保育所（園）の 統合・民営化 による再編整 備の推進	保育幼 稚園課	小学校区や保育 所（園）の規模 を考慮し、中規 模園（110人以 上）を基本とし た統合・民営化 による再編整備 を進めます。	公立 保育 所（園） 数	16	16	所 （園）	保育所（園）の 統廃合、民営化 、認定こども園 など、再編整備 を進めます。				14	
9			49	保育所（園）再 編整備に関する 協議の実施	保育幼 稚園課	保育所（園）の 再編にあたり、 保護者や地域住 民に対し、施設 整備や統合内容 、民間運営制度 を説明するなど 協議を行う機会 を十分設けます。	指標 化で き な い	-	-	-	依那古保育所と 依那古第2保育 所の再編整備に ついて、保護者 や地域住民への 説明や協議を十 分に行います。				-	
10			49	保育所（園）施 設の保育環境 整備の推進	保育幼 稚園課	施設の老朽化等 に対応するため 、施設・設備の 補修や改修を行 い、安心・安全 な保育環境の維 持管理を行います。	箇所 数	30	16	所 （園）	施設の老朽化等 に対応するため 、施設・設備の 補修や改修を行 います。				14	R2から対象 を見直し、公 立保育所（園） のみにした。
11			49	保育所（園）に おける低年齢 児保育の推進	保育幼 稚園課	保育所（園）入 所児童の低年齢 化にできるよう 保育環境を整え ます。	箇所 数	30	30	所 （園）	一人ひとりの 児童の発達や障 がいに応じた保 育ができるよう 、必要な保育 士を配置し保育 を実施します。 また、専門性を 高めるための研 修や専門職との 事例検討会に積 極的に参加しま す。				29	
12			49	保育所（園）に おける障がい 児保育の充実	保育幼 稚園課	児童の発達や障 がいに応じた保 育や療育を行う ため専門性を高 め、障がい児保 育の充実を図り ます。	箇所 数	30	30	所 （園）	一人ひとりの 児童の発達や障 がいに応じた保 育ができるよう 、必要な保育 士や保育補助を 配置し、保育を 実施します。ま た、専門性を高 めるための研修 や専門職との事 例検討会に積極 的に参加しま す。				29	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
13			49	地域や家庭との連携における人権保育の充実	保育幼稚園課	人権保育の一環として、一人ひとりを認めながら自尊感情を高め、友達のことも認めていける仲間づくりをするために、保育の研修等を行い、保育士の意識向上を図ります。また、家庭、地域と連携し、人権を大切にす る保育の充実を図ります。	参加者数	613	700	人	伊賀市解放保育研究会で講演会を1回、推進交流会を3回、職員同士が解放保育について語り合う「語るう会」を3回行い、保育士や保育所(園)に働く職員の意識の向上を図ります。				730	
14			49	保育士・幼稚園教員の研修機会の充実	保育幼稚園課	保育の資質向上のため各種研修会に参加し、保育の充実に努めます。また、市としての保育方針を策定し、実践を行い、保育の充実を図るとともに、保育士のさらなる資質向上に努めます。	参加者数	1,050	1,400	人	各研修会に積極的に参加し、保育の質の向上を図ります。また、外部講師を招いて、課題別の研修会や所長研修、中堅保育士研修などのクラス別研修会を実施し、それぞれの資質向上を図ります。				1,500	
15			49	保育士・幼稚園教員の研修機会の充実	学校教育課	幼稚園教育の質の向上をめざし、子育て支援に関する研修会に参加します。	延人数	40	50	人	研究会や研修会への参加や、子育て支援をしている機関と連携をとって話を聞きます。				50	
16			49	保育士・幼稚園教員の交流促進	保育幼稚園課	幼保連携のための研修会を開催し、連携の強化に努めます。	回数	6	6	回	研修会を開催し、各保育所(園)の子ども状況や、日々の取り組み、保育内容について話し合う機会を持ちます。				6	
17			49	保育士・幼稚園教員の交流促進	学校教育課	幼保連携のための研修会を開催し、連携の強化に努めます。	回数	6	5	回	研修会を開催し、子どもの状況や日々の取り組み、保育・教育内容について話し合う機会を持ちます。				6	
18			49	保育人材確保と保育士の業務負担軽減	保育幼稚園課	あらゆる機会を通じて保育人材確保に努めるとともに、保育士の業務負担を軽減するよう努めます。	参加人数	-	10	人	保育士資格取得を目指す学生アルバイトの募集や、潜在保育士の就職・復職に向けての体験セミナーを開催して、保育士の確保に努めます。また、保育の事務を見直しながら事務軽減に努めます。				13	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
19	1・地域における子育て支援事業の充実	②学童期への円滑な接続	50	保育所(園)・幼稚園・認定こども園と小学校との連携体制の充実	保育幼稚園課	就学前保育や教育から小学校教育へとスムーズな移行ができるよう、保育要録や接続カリキュラムなどにより就学児童一人ひとりの状況を小学校と相談するなど連携を行います。また、保育所(園)、幼稚園、認定こども園の園児と小学校児童の交流に努めます。	箇所数	30	30	所(園)	保幼小の円滑な接続のために、各小学校区単位で保幼小接続カリキュラムを作成します。また個々の状況等を連携するために、保育要録の作成や小学校との話し合う機会を定期的に持っていきます。小学校児童との交流も行います。				29	
20			50	保育所(園)・幼稚園・認定こども園と小学校との連携体制の充実	学校教育課	就学前保育や教育から小学校教育へとスムーズな移行ができるよう、保育要録や接続カリキュラムなどにより就学児童一人ひとりの状況を小学校と相談するなど連携を行います。また、保育所(園)、幼稚園、認定こども園の園児と小学校児童の交流に努めます。	交流回数	2	3	回	小学校に園児の様子を見学してもらったり、状況を相談し合ったり、接続カリキュラムについて話し合うなどして、連携を図ります。小学校で1年生の授業の見学をしたり、一緒に活動したりして子ども同士の交流をします。				3	
21			50	保育所(園)・幼稚園と小学校との連携による研修会の開催	保育幼稚園課	連携の充実を図るため、小学校の運動会などに参加し交流を行います。また、小学校と連携して、各種研修会に参加します。	箇所数	30	30	所(園)	卒園した子どもの様子を授業参観や運動会など行事を通して見学したり、保幼小連絡会などを通して各種研修会に参加します。				29	
22			50	保育所(園)・幼稚園と小学校との連携による研修会の開催	学校教育課	連携の充実を図るため、小学校の運動会などに参加し交流を行います。また、小学校と連携して、各種研修会に参加します。	該当校当たりの回数	1	1	回	保幼小同和教育学習会や公開授業に積極的に参加します。				2	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
23	1・地域における子育て支援事業の充実	1-2 児童の放課後の過ごし方への支援	①放課後児童の健全育成の充実	51	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	こども未来課	共働き家庭が増えるなか、昼間保護者がいない児童の健全育成を図るため、適切な遊びや生活の場を与え、希望する子どもが利用できるよう、待機児童の解消や未設置校区児童の利用について検討を行います。施設整備について、学校施設等の活用を検討します。	利用者数	低学年 463 高学年 83	低学年 658 高学年 85	人	共働き家庭が増えるなか、昼間保護者がいない児童の健全育成を図るため、適切な遊びや生活の場を提供し、希望する子どもが利用できるように努めます。また、待機児童の解消や未設置校区児童の利用について検討を行います。施設整備について、学校施設等の活用を検討します。				低学年 611 高学年 103	量の見込みに基づく目標値設定
24				51	児童館事業	しろなみ児童館	放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。	延利用者数	7,163	3,600	人	放課後児童の見守り、児童間の問題解決や体験事業を行い、健全育成の推進を図ります。				3,600	
25				51	児童館事業	まえがわ児童館	放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。	延利用者数	3,155	3,500	人	夏休みの開館で学力向上を図ると共に、体験・チャレンジ教室等を開催します。				3,000	
26				51	児童館事業	老川児童館	放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。	延利用者数	604	700	人	老川児童館の開館時間に合わせて開放し、自主学習や遊びの場づくりを図ります。				800	
27				51	放課後子ども教室	生涯学習課	小学生を対象として、安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進します。	箇所数	3 (1,648)	4 (1700)	箇所 (児童延参加人数)	放課後に小学生の居場所を設けるため、地域の方々のサポートや交流の中で、子ども達と共に宿題やスポーツ・文化芸術活動等の取り組みを推進します。開設箇所については、地域の協力が不可欠な為、要望があれば実施に向けて支援します。				4	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
28	1・地域における子育て支援事業の充実	①子育て支援サービスの充実	52	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）	こども未来課	未就学児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。	延利用回数	-	29,178	回	各子育て支援センターで通信を発行して利用者への情報提供を図ります。また、子育て相談や各種教室を開催します。				25,398	量の見込みに基づく目標値設定
29			52	子育て包括支援センター事業	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ①市内の子育て支援施設のネットワーク化を図るための会議を行います。	会議開催回数	2	2	回	子育て支援センター担当者会議を開催し、市内各子育て支援センターとの情報共有を実施します。				2	
30			52	子育て包括支援センター事業	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ②子育てサークルの指導・育成、連携に努めます。	サークル登録団体数	0	5	件	ハイトピア伊賀の子育て団体登録を促し、登録団体の施設利用料を減免します。				5	
31			52	子育て包括支援センター事業	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ③子育て支援講演会等の各事業を実施します。	講演会開催回数	1	1	回	ファミリースマイルアップ講座を開催します。				1	
32			52	病児・病後児保育（くまさんルーム）事業	こども未来課	病気の回復期にある幼児、児童を保護者に代わって一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援します。専門職のスタッフの確保に努めると共に、安定的な運営について検討します。	延利用者数	79	129	人	病児・病後児保育（くまさんルーム）を設置し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。				326	量の見込みに基づく目標値設定のためこれまでの実績との隔たりが大きい。
33			53	子育て短期支援（ショートステイ）事業	こども未来課	家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設等において一定期間子どもを養育し、子ども及びその家庭の福祉向上を図ります。	延利用者数	27	6	人日	家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設において一定期間、子どもを養育又は保護し、子ども及びその家庭の福祉向上を図ります。				6	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
34			53	子育て相談広場「にんにんパーク」事業	こども未来課	自然のなかで親子のふれあいを楽しめる上野南公園を活用し、平日に就労している保護者等を対象として、子育て相談とからだ育てにつながる遊びを実施します。	延利用者数	352	265	人	上野南公園に子育て相談広場「にんにんパーク」を設置し、月1回(第2日曜日)事業を実施します。				350	
35			53	ファミリー・サポート・センター事業	こども未来課	育児の援助を受けたい人(依頼会員)と子育て支援ができる人(提供会員)を結びつけることで、保護者の育児と仕事の両立や地域での子育てを支援します。また、提供会員確保のために講習会を実施します。	延利用回数	-	800	件	ファミリー・サポート・センターを設置し、会員の支援を実施します。				800	
36			53	保育所(園)における子育て支援事業の充実	保育幼稚園課	保育所(園)での子育て支援(未就園児と一緒に遊ぶ、保健指導、育児相談)や園庭開放を計画に基づいて実施します。	箇所数	30	30	所(園)	未就園児と一緒に遊ぶ「遊びの広場」を計画的に開催します。また、その機会を通して、保健指導や育児相談を行います。				29	
37			53	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	健康推進課	生後4か月までの乳児のいる家庭を対象に、こんにちは赤ちゃん訪問を実施します。保健師や助産師等が全戸訪問を行い、乳児の身体計測及び育児に関する相談を受けます。育児環境等の確認も行います。	件数	545	544	件	生後4か月までの乳児の家庭を全戸訪問します。育児不安や育児環境等の確認を行い、相談に応じるとともに、必要な家庭に対しては支援につなげます。				492	量の見込みに基づく目標値設定
38			53	養育支援訪問事業	健康推進課	こんにちは赤ちゃん訪問で継続支援が必要と思われる家庭をはじめ、虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への保健師等による家庭訪問を実施します。また、各関係機関と連携をより深め、情報の共有を徹底します。	延訪問件数	188	180	件	継続支援が必要なケースに対して、訪問を実施します。必要に応じて各機関と連携し、情報共有を行います。				180	量の見込みに基づく目標値設定
39			53	利用者支援事業	健康推進課	妊娠期より個別支援計画を立て、妊娠・出産・育児期を切れ目なく支援でき安心して過ごせるよう、情報提供や相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行います。	箇所数	1	2	箇所	妊娠中からの切れ目のない支援システムの整備を行い、ケースの支援計画作成と関係機関との連絡調整を行います。母子保健及び子育て支援コーディネーターが情報共有を行います。				2	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
40	1・地域における子育て支援事業の充実	1-4 子育て支援家庭への経済的負担の軽減 ① 幼児教育・保育の無償化 手当・医療費の助成	54	幼児教育・保育の無償化	保育幼稚園課	幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳児から5歳児クラスまでの子ども、及び市民税非課税世帯の0歳児から2歳児クラスの子どもの対象に、幼児教育・保育の無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図ります。 また、3歳未満児クラスの保育料について、国制度を超えた第3子以降保育料無償化を引き続き実施します。	箇所数	-	42	所(園)	管内にある認可保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等（病児保育事業・子育て援助活動支援事業・預かり保育事業・一時預かり事業を含む）について幼児教育・保育の無償化を実施するとともに、伊賀市独自の第3子以降の保育料無償化を実施することで、子育て世帯の負担軽減を図ります。				41	
41			54	任意予防接種費用の助成	健康推進課	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成します。	インフルエンザ助成数	4,937	4,800	件	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成します。				4,500	
42			54	児童手当支給事業	こども未来課	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当等を支給します。	受給者数	5,813	5,815	人	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当等の支給を行います。				5,320	
43			55	子ども医療費助成制度	保険年金課	中学校修了までの子どもを対象に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	9,579	9,300	人	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学校修了までの子どもの医療費を助成します。				8,400	
44			55	児童扶養手当支給事業	こども未来課	ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。	受給者数	568	581	人	ひとり親家庭等が安定した生活を送れるよう、経済的な面から支援を行います。				532	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
45			55	一人親家庭等医療費助成制度	保険年金課	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。				1,350	
46			55	特別児童扶養手当の支給	こども未来課	身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。	受給者数	178	170	件	身体や精神に障がいのある20才未満の対象者について、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するための申請受付等を行います。				170	
47			55	障がい者医療費助成制度	保険年金課	身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方に医療費を助成します。 ※障害者保健福祉手帳1級または2級の方は通院分のみ助成	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。				1,600	
48			55	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業	こども未来課	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、利用料の助成を行います。	件数	25	20	件	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、申請に基づき利用料の助成を行います。				20	

2.安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
49	2・安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり	2-1母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進	①母子保健制度の充実	57	母子保健事業	健康推進課	①母子健康手帳の交付	交付数	588	554	冊	母子保健コーディネーターが全数の面談を通して情報収集し、リスクアセスメントを行います。				502	
50				57	母子保健事業	健康推進課	②妊婦健康診査（医療機関委託）	②受診者数	7,002	7,560	人	14回分の健診費用を助成します。				6,860	量の見込みに基づく目標値設定
51				57	母子保健事業	健康推進課	③産婦健康診査（医療機関委託）	受診率	-	94	%	産後2週間及び1か月に産後うつスクリーニングを含む健診を実施します。				96	
52				57	母子保健事業	健康推進課	④新生児聴覚スクリーニング検査（医療機関委託）	受診率	-	92	%	新生児聴覚スクリーニング検査の費用の一部を助成します。				93	
53				57	母子保健事業	健康推進課	⑤乳幼児健診（4か月・10か月・1歳6か月・3歳）	1歳6か月児健診受診率	96	96	%	乳児健診は医療機関委託、幼児健診は集団で実施します。				98	
54				57	母子保健事業	健康推進課	⑥育児相談（随時対応）、2歳児相談	2歳児相談率	73	80	%	2歳児相談は1歳6か月児健診で経過観察になった児と健診未受診者を対象に実施します。相談日の来所ができない場合、個別や電話での相談に応じます。				90	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
55			57	母子保健事業	健康推進課	⑦電話相談（随時対応）	コーディネーターによる妊娠期の電話連絡数	-	544	件	出産予定日の1～2か月前に電話連絡します。産後の支援の状況や育児環境、不安などについて情報収集し必要な支援につなげます。				492	
56			57	母子保健事業	健康推進課	⑧こんにちは赤ちゃん訪問事業	訪問率	100	100	%	乳児全戸訪問事業として、生後4か月までにすべての家庭を訪問します。				100	
57			57	母子保健事業	健康推進課	⑨家庭訪問指導事業	訪問件数	188	180	件	支援が必要な家庭を訪問し、保健指導を行います。				180	
58			57	母子保健事業	健康推進課	⑩産後ケア事業	利用者数	2	5	件	宿泊型・通所型については委託医療機関で、訪問型については助産師に委託し、育児不安の解消・授乳や育児についての指導を行います。				5	
59			57	母子保健事業	健康推進課	⑪その他の健康教室	実施回数	88	15	回	様々な年代の対象者に妊娠や出産、子育てに対する理解を深める機会を作ります。				20	
60			57	5歳児発達相談事業	こども未来課	年中児を対象として保護者にアンケートを記入してもらい、保育所等での集団場面の観察を行うことで、社会性などの発達課題を発見するとともに、保護者からの相談に応じる機会とします。	箇所数	33	32	箇所	年中児を対象として保護者にアンケートを記入してもらい、児童発達支援センターと連携しながら、保育所等での集団場面の観察を行い、社会性などの発達課題について、保護者の相談に応じます。				33	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
61			57	ウェルカムベビー教室（両親学級）	健康推進課	妊婦とその夫や家族を対象に、妊娠・出産に関する講話や妊婦体験、沐浴、心音聴取などの体験と情報交換の場、仲間づくりを目的として、土・日曜日に教室を開催します。妊娠中の生活、出産や育児について理解を深め、夫や家族の協力を得ることで家族が育児に積極的にかわれるよう支援を行います。	参加者数	85	80	組	妊婦とその家族に対して、妊婦体験や沐浴実習などの体験、赤ちゃんのいる生活や産後うつ予防についての話、DVDの視聴などを通じて、出産や育児について理解を深めてもらいます。				80	
62			57	未熟児養育医療事業	保険年金課	種々の未熟性があり、入院治療を必要とする未熟児に対して、医療の給付を行います。	対象者数	23	20	人	入院治療を必要とする未熟児のいる世帯の経済的負担の軽減を図るため、養育に必要な医療の給付を行います。				20	
63			57	未熟児養育医療事業	健康推進課	種々の未熟性があり、入院治療を必要とする未熟児に対して、医療の給付を行います。	指標化できない	-	-	-	入院治療が必要な未熟児に対し、医師の診断書を基に養育に必要な医療の給付を行います。				-	
64			57	不妊に関する相談体制の整備	健康推進課	三重県が行う補助金と所得に応じ市による助成事業を行います。一般不妊治療や不育症に対しても助成事業を実施します。	新規申請者数	36	40	件	三重県が行う補助金と所得に応じて市による助成事業を行います。一般不妊治療や不育症に対しても助成事業を実施します。				40	
65			57	要指導妊産婦に対するフォローの充実	健康推進課	特定妊婦や妊婦健診結果等で要支援となった妊産婦を対象に、訪問指導などを行います。	訪問実人数	25	20	人	特定妊婦やハイリスク妊婦など、妊娠中から関わりの必要なケースや産後も支援の必要な家庭に対し、継続的に訪問します。				30	
66			57	周産期における各機関との連携の強化	健康推進課	特定妊婦や要支援妊婦については周産期医療機関や各機関と早期より連携を行い、妊娠・出産・子育ての支援を行うように努めます。	医療機関からの連絡数	141	150	件	特定妊婦やハイリスク妊婦等について早期からの情報共有を行い、必要に応じて適切な時期に支援が行えるように医療機関と双方向に連携を取ります。				150	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
67			57	要指導児に対するフォローの充実	健康推進課	乳幼児健診等において要経過観察となった児の健診結果について、小児科医と共有するための会議を開催し、乳幼児の健全な発育のための検討を行います。	会議数	3	3	回	定期的に小児科医等との会議を開催し、情報共有に努めます。				3	
68			57	福祉医療費助成制度《再掲》	保険年金課	医療費の一部を助成し、健康の保持と福祉の向上を図ります。 ①子ども医療費助成制度	登録者数	9,579	9,300	人	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学校修了までの子どもの医療費を助成します。				8,400	
69			57	福祉医療費助成制度《再掲》	保険年金課	医療費の一部を助成し、健康の保持と福祉の向上を図ります。 ②一人親家庭等医療費助成制度	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。				1,350	
70			57	福祉医療費助成制度《再掲》	保険年金課	医療費の一部を助成し、健康の保持と福祉の向上を図ります。 ③障がい者医療費助成制度	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。				1,600	
71			58	歯の健康づくりの充実	健康推進課	1歳6か月児健診、3歳児健診時に、歯科健診と歯科衛生士による歯磨きの指導を行います。また、乳幼児相談等の機会を利用して口腔衛生についての指導を行い、保護者の意識の向上につなげます。母子健康手帳交付時に、無料歯科健診受診券を交付し口腔衛生についての指導を行い、妊娠期から意識づけを行います。	3歳児健診で虫歯のない子の率	88	88	%	幼児健診時に歯科健診と歯科衛生士による歯科保健指導を行います。母子健康手帳交付時に妊婦無料歯科健診受診券を交付し、妊娠期からの口腔衛生について意識づけをします。				90	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
72			58	乳幼児事故防止の啓発	健康推進課	母子健康手帳交付時等に事故予防に関するパンフレットを配布します。赤ちゃん訪問時や幼児健診時や乳幼児相談時にも、月齢に応じたパンフレットの配布や指導を行うなど、啓発に努めます。	配布数	588	554	部	母子健康手帳交付時にパンフレットを配布し、事故予防について啓発を行います。					502	
73			58	予防接種の必要性を啓発するためのパンフレットの配布	健康推進課	出生届出時等に予防接種パンフレットの配布を行うなど、予防接種の必要性や正しい知識の普及と啓発を行います。	配布数	588	544	部	出生届出時等に予防接種パンフレットの配布を行うなど、予防接種の必要性や正しい知識の普及と啓発を行います。					492	
74			58	子育て支援ヘルパー派遣事業	こども未来課	産前・産後で心身の負担の大きい時期に母親の体調不良等により、家事や育児が困難な家庭にヘルパーを派遣します。	派遣回数	-	42	回	家事・育児等が困難な妊娠中又は満1歳未満の児童を養育する家庭に対してヘルパーを派遣します。					42	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
75	2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり	2-1母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進 ②からだそだて・食育の推進	58	保育所(園)・幼稚園での「からだそだて」の実施	保育幼稚園課	保育所(園)や幼稚園で、子どもたちの身体感覚を高める保育・教育内容を実施します。発達に合った「にんにんタイム」の動きを考えることにより、子どもたちの体力の向上や、基礎的な運動能力等を高めることを目指します。	箇所数	30	30	所(園)	「からだそだて」を実施するため、「伊賀市版幼児の体力向上実践プログラムににんにんタイム」を引き続き各保育所(園)で実践します。				29	
76			58	保育所(園)・幼稚園での「からだそだて」の実施	学校教育課	保育所(園)や幼稚園で、子どもたちの身体感覚を高める保育・教育内容を実施します。発達に合った「にんにんタイム」の動きを考えることにより、子どもたちの体力の向上や、基礎的な運動能力等を高めることを目指します。	活動時間数	175	120	時間	毎日3歳児40分、4歳児50分、5歳児1時間を目安に「にんにんタイム」を設定して、体を動かして遊びます。				150	
77			58	妊産婦に対する食事指導の実施	健康推進課	母子健康手帳交付時に、食事に関するパンフレットを配布します。必要に応じて電話、訪問等による食事指導も行います。	配布数	588	554	部	母子健康手帳交付時に食事に関するパンフレットを配布します。				502	
78			59	離乳食教室の開催	健康推進課	離乳食教室を前期・後期にわけて開催します。教室では、調理実習を取り入れ、離乳食の実際についてより具体的に学べるようにします。また、離乳食の調理を見学しながら、学ぶ教室も実施しています。	教室開催数	-	10	回	毎月1回調理実習を取り入れた教室を実施します。必要に応じ、母親が集中して学べるように託児を行います。				12	
79			59	栄養相談・指導の充実	健康推進課	乳幼児相談や幼児健診時に、栄養士による栄養相談・指導を行います。随時電話相談や家庭訪問等も実施します。	栄養相談件数	940	800	件	乳幼児相談や幼児健診時、また窓口や電話等で栄養士による相談・保健指導を実施します。				800	
80			59	子育て支援センターにおける食育・運動教室の実施	こども未来課	子育て包括支援センター及び子育て支援センターにおいて、食育に関する教室を実施します。また、からだそだて事業に取り組みます。	教室開催回数	82	66	回	毎月の子育て支援事業の中へ栄養士の講話、親子で体を動かす体操などを取り入れます。また食育教室「もぐもぐ」を実施します。				82	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
81			59	保育所(園)、幼稚園、認定こども園での食育の推進	保育幼稚園課	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育・教育のなかで取り組みます。児童に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めます。	箇所数	30	16	所(園)	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育のなかで取り組みます。地場産食材をできる限り使用し、児童・生徒に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めます。				14	R2から対象を見直し、公立保育所(園)のみにした。
82			59	保育所(園)、幼稚園、認定こども園での食育の推進	学校教育課	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育・教育のなかで取り組みます。児童に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めます。	育てた野菜を調理する回数	5	5	回	共通の食事の際は、栄養3色版を活用して、子どもも保護者も食に興味を持てるようにします。園のプランターで野菜を育て、収穫した野菜を使って調理して食べます。				5	
83			59	小中学校における食に関する指導計画の作成・実践	学校教育課	全小中学校で食に関する指導計画を作成し、実践します。児童生徒の実態に応じた食に関する指導を、系統的に進めます。	箇所	31	30	校	食について、興味関心をもつとともに、自分の食生活について考えることができるよう、食に関する指導計画を作成し食育を進めます。				30	
84			59	「食育」を意識した学校での給食の充実	学校教育課	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の教育のなかで食に関する体験活動に取り組みます。	箇所	-	30	校	地域の食材について、生産者から話を聴いたり、自分たちで栽培する等の活動や、献立を考え調理実習を行うなど、食に関する体験活動を進めます。				30	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
85	2・安心して子どもを生育てられる子育て支援の体制づくり	2-2 小児救急医療体制の充実 ①小児救急医療体制の充実	60	伊賀地域救急医療体制	医療福祉政策課	入院を必要とする小児二次救急については、市内の総合病院で年間を通じての診療体制を維持します。	維持する	-	-	-	入院を必要とする小児二次救急維持のため、24時間365日対応している岡波総合病院への支援を行います。				-	
86			60	伊賀市心急診療所の運営	医療福祉政策課	夜間・休日における、比較的軽症な方を対象とした一次救急(小児・一般)を行います。	維持する	-	-	-	夜間・休日における、比較的軽症な方を対象とした一次救急(小児・一般)を行います。また、円滑な運営を行うため年2回運営検討会を開催します。				-	
87			60	地域医療体制の充実	医療福祉政策課	地域医療体制の充実を図り、地域で安心して子育てのできる医療体制を進めます。	維持する	-	-	-	伊賀市医師会等との連携のもと、地域で安心して子育てのできる医療体制の維持に努めます。				-	
88			60	小児医療に関する情報提供の充実	医療福祉政策課	小児医療に関する情報及び地域救急医療情報センターや、救急医療情報システムなどの救急医療情報について、ホームページに掲載し周知に努めます。また、チラシ配布や出生届時に配布する冊子に記載することで周知に努めます。	掲載	-	-	-	小児救急医療情報等について、ホームページに掲載するとともに、出生時や転入時に周知するため情報提供を行います。また、お薬手帳カバーに「みえ子ども医療ダイヤル#8000」を掲載します。				-	
89			60	小児医療に関する情報提供の充実	健康推進課	小児医療に関する情報及び地域救急医療情報センターや、救急医療情報システムなどの救急医療情報について、ホームページに掲載し周知に努めます。また、チラシ配布や出生届時に配布する冊子に記載することで周知に努めます。	赤ちゃん訪問時配布数	588	544	部	小児医療に関するチラシを赤ちゃん訪問や幼児健診時に配布し情報提供します。				492	
90			60	伊賀市救急相談ダイヤル24	医療福祉政策課	24時間体制で救急相談を受け付けるシステムを実施するとともに、周知に努めます。	実施	実施	実施	-	伊賀市救急・健康相談ダイヤル事業を実施し、各種相談を受け付けます。また、毎月広報に案内を掲載し周知に努めます。				実施	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
91	2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり	2-3子育ての相談・支援体制の充実 ①子育ての相談・支援体制の充実	61	子育て相談の充実	こども未来課	子育て包括支援センター、子育て支援センター（市内7か所）において、子育て中の保護者からの育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	相談件数	514	463	件	子育て包括支援センター及び子育て支援センターにおいて、子育て相談を実施します。				500	
92			61	子育て相談の充実	保育幼稚園課	保育所（園）、幼稚園、認定こども園において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	箇所数	-	33	所（園）	保護者の子育てに対する不安や悩み、疑問などの相談を受けたり、アドバイスや支援を行っていきます。				32	
93			61	子育て相談の充実	学校教育課	保育所（園）、幼稚園、認定こども園において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	延相談件数	-	200	件	子育てやしつけ・健康等について悩んでいる保護者の話に耳を傾け、丁寧に支援します。				200	
94			61	子育て相談の充実	こども未来課	家庭児童相談室に家庭児童相談員を配置し、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	延相談件数	2,191	2,000	件	家庭児童相談室等において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。また、こども発達支援センターに家庭児童相談員を設置し、早期発見早期対応の拡充を図ります。				2,000	
95			62	福祉総合相談支援事業	地域包括支援センター	各支援機関のみでの対応が困難であったり、他分野にわたる支援が必要なケースについて、必要に応じ地域の支援者も含めた関係機関が集まり、会議を開催します。個別の事例について事例検討を行い、役割分担を明確にします。	開催回数	36	80	回	地域ケア会議、相談事案調整会議を開催し、支援の困難な事例について支援者で検討を行います。				80	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
96			62	福祉総合相談支援事業	地域包括支援センター	子ども、高齢者、障がい者等が住み慣れた地域で安心して生活するため、身近なところで、専門職が迅速かつ適切な相談支援を行います。	子どもに関する相談件数	13	25	件	福祉の一次相談窓口として、地域包括支援センター（中部・東部サテライト・南部サテライトの3か所）の三職種（社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員）がそれぞれの専門性を活かして相談を受け、適切な支援機関につながります。				25	
97			62	子育て情報の収集・提供	こども未来課	市民が求める子育て支援情報を的確に把握し、毎月開催される子育て支援センター事業などを市広報、ホームページ、ケーブルテレビ等により効果的に情報提供を行います。	回数	30	12	回	毎月開催される子育て支援センター事業等を市広報、ホームページ、ケーブルテレビ等で情報提供します。				12	
98			62	生徒指導推進事業	学校教育課	SSW（スクールソーシャルワーカー）を配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のための連携を強化します。	活動日数	-	88	日	SSWを配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のために連携を強化します。				90	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
99	2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり	2-4 家庭や地域の教育力の向上	①子どもの活動機会の充実	63	保育所(園)の園庭や保育室等の開放	保育幼稚園課	可能な限り園庭や保育室等の開放を行い、子育ての仲間づくりの場として役割を担います。	箇所数	30	30	所(園)	園庭開放や空き保育室等の開放を行い、子育ての仲間づくりの場として提供します。				29	
100				64	体験活動、勤労体験活動	学校教育課	小学校におけるさまざまな体験活動や、中学校における勤労体験活動（職場体験）など地域と連携しながらの活動を通して、社会性や連帯性など児童生徒の心の育成を図ります。	実施校数	31	30	校	小学校におけるさまざまな体験活動や中学校における勤労体験活動（職場体験）など、地域と連携する活動を通して、社会性や連帯性など児童生徒の心の育成を図ります。				30	
101				64	体験活動、勤労体験活動	上野図書館（各分館）	図書館を身近に感じ親しみを持ってもらうため、職場体験を受け入れ、勤労体験を通して、社会性を身につけるよう育成に努めます。	回数	26	14	回	司書からレファレンス方法・装備・資料登録等を学び接客業務を体験することにより、図書館に親しみをもらい、社会性を身につけるよう育成に努めます。また、分館図書室においても、図書室への関心や親しみを持ってもらうこと、社会性の育成を目的として、中学生の職場体験と高等学校のインターンシップの受け入れを行います。				14	
102				64	子育て講座の開催	こども未来課	子育て（包括）支援センターが主催する講座を通じ、保護者と子どもが一緒に参加しながら成長を実感できる機会を提供することで、保護者の育児不安の軽減を図り、家庭保育の充実につながる支援をします。	回数	490	370	回	食育教室、運動あそび、離乳食教室、読み聞かせ等の講座を開催します。				530	
103				64	子育て支援に関する人材育成講座の開催	こども未来課	地域住民が子育て支援活動に参加できるような講座を開催し、地域における子育て支援活動を支える人材の育成に努めます。	回数	1	1	回	地域で活動できる専門的な知識を持った市民を養成します。（ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座を兼ね、1回あたり24時間実施）				1	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
104			64	子ども会活動の育成支援	生涯学習課	青少年健全育成のための諸活動を行い、子ども会連合会を育成するため、卓球大会・自然体験学習・ミステリー列車・リーダー研修等を行います。	延事業参加者数	1,408	1,500	人	上野児童福祉連合会 参加予定者数：①みんなの集まり50人②卓球大会250人③リーダー研修会50人④夏休み子ども自然体験教室50人⑤ミステリー列車300人⑥オセロ大会100人⑦映画上映会700人				1,500	
105			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	生涯学習課	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	149	200	人	ふるさと学習会 参加予定者数 第1回：歴史、文化学習30人 第2回：野外活動30人 第3回：企業訪問30人 第4回：自然観察と工作30人 第5回：わら細工作り30人 第6回：春の七草探しと伊賀の民話30人 第7回：城下町さまざま体験20人				200	
106			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	いがまち公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延利用者数	256	350	人	こども体験教室は全13回開催し、みんな集合こども体験教室、英語で遊ぼうなどを行います。 青少年体験教室は夏休みに南伊勢町で体験教室を、冬はサンビア伊賀でスケート教室を開催します。 新規事業として、楽しいダンスフィットネス教室を4回行います。				400	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
107			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	島ヶ原公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	190	200	人	小学生を対象とした体験学習の機会を設けるとともに、中高生や大人のボランティアが事業に参加し、世代間交流を深めます。 参加予定者数 子どもちぎり絵 行灯作り 20名、子ども押し花教室 ランチョンマット作り40名、子ども書道教室40名、竹灯りの宴事業100名					230	
108			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	阿山公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	105	200	人	第1回：木工教室 第2回：奴・ポ-ト教室 第3回：工作教室 第4回：そば打ち体験教室 第5回：森林教室 第6回：ちぎり絵教室 第7回：星たまごプラネタリウム 第8回：おやつづくり教室					250	
109			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	大山田公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	179	140	人	夏・冬休み子ども公民館教室を実施します。親子で体験できる教室も予定しています。					140	
110			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	青山公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	181	181	人	「田植え体験」を開催します。開催日：5月5日 【中止】 「稲刈り体験」を開催します。 「星たまごプラネタリウム」を開催します。					185	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
111	2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり	2-4 家庭や地域の教育力の向上 ②保護者への学びの支援	65	家庭教育に関する講演会や研修会の開催	生涯学習課	家庭教育に関する講座などを実施します。	イベント数	2	1	回	社会教育委員の自主事業として、保護者や子どもを対象にした家庭教育に関する事業（講演会等）を開催します。				1	
112			65	子育て支援についての講演会・研修会等の開催	こども未来課	子育てや子育て支援について考える講演会や研修会を開催します。	回数	1	1	回	ファミリースマイルアップ講座を開催します。				1	
113			65	父親の子育て参加を促す教室・講座・講演会などの開催	保育幼稚園課	父親が子育てに参加しやすいよう、保育所(園)の行事を工夫したり、講演会などを開催します。	箇所数	30	30	所(園)	父親が子育てに参加しやすいような運動遊びなどの内容で、行事や講演会を行います。				29	
114			65	保育所(園)や幼稚園、小学校等を通じた、健康や子育てに関するおたよりの配布	保育幼稚園課	「保育所(園)だより」「保健だより」等を通して、各家庭に対して子育てや健康に関する情報を提供するように努めます。	箇所数	30	30	所(園)	「保育所(園)だより」「保健だより」「食事だより」を毎月発行し、子育てや健康等について情報を提供します。				29	
115			65	保育所(園)や幼稚園、小学校等を通じた、健康や子育てに関するおたよりの配布	学校教育課	「園だより」「保健だより」等を通して、各家庭に対して子育てや健康に関する情報を提供するように努めます。	発行回数	100	100	回	月2回「幼稚園だより」、月1回「保育のたより」「保健だより」、適宜発行「学年だより」を通して、幼稚園の取組や子育て・健康等についての情報を提供します。				100	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
116			65	図書館の子ども向け図書の充実	上野図書館（各分館）	家庭での読書習慣をつけるため、図書の充実を図るとともに、絵本や児童書の特集コーナーを設置し、閲覧しやすい環境をつくります。	回数	248	100	回	児童向け特集コーナーや絵本書架上コーナーに各テーマに合わせ絵本や小説を紹介し、ホームページ等で周知します。 また、各分館図書室においても、入園・入学おめでとう、職場体験コーナーなどを随時設け、読書への関心を高め、想像力豊かな子どもの育成に努めるとともに、乳幼児から本に親しむきっかけをつくるため、子どもたちが興味を持つ内容の特集コーナーを設置し、利用促進に努めます。				100	
117			65	読み聞かせボランティアの育成・支援	上野図書館（各分館）	読書の大切さを理解し、乳幼児期から、本に親しむきっかけをつくるため、市内の読み聞かせボランティアグループの支援を行いつつ、図書館（室）で読み聞かせ会を開催します。	回数	3	3	回	市内の読み聞かせボランティアグループのスキルアップを図るため、自主研修会と情報交換会を開催します。 市主催の読み聞かせ事業に参加するため、情報共有する場を設けて活動支援に繋がります。 また、分館図書室において、市内の読み聞かせボランティアグループと連携して乳幼児に本を読むきっかけづくりのための読み聞かせ会を開催します。 夏休みと冬休みに小学生向けの読み聞かせ会を行い、読み聞かせ会の後にはミニ工作等を行います。				3	

3.子どもの健全育成を推進するための体制づくり

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
118	3.子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-1子どもの人権擁護の推進 ①児童虐待防止ネットワーク活動の充実・強化	66	児童虐待・DV防止のための関係機関の連携強化	こども未来課	「伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会」を設置し、要保護児童や特定妊婦等の早期発見や適切な支援を図り、DV被害者への適切な対応を行うため、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議等を実施し、児童相談所、警察署、民生委員・児童委員、保育所(園)、幼稚園、認定こども園、学校、保健師等の関係機関との連携を強化します。	会議回数	11	15	回	「伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会」を設置し、要保護児童や特定妊婦等の早期発見や適切な支援を図ります。また、DV被害者への適切な対応を行うため、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会を実施し、児童相談所、警察署、民生委員・児童委員、保育所(園)、幼稚園、学校等の関係機関との連携を強化します。				15	
119			67	児童虐待・DVネットワーク会議を活用した講演会や研修会等の開催	こども未来課	伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会主催により、講演会や研修会を開催し、情報の共有や意識の向上を図り、児童虐待やDVの発生予防、早期発見に努めます。	研修回数	2	1	回	伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会主催により、講演会や研修会を開催し、情報の共有や意識の向上を図り、児童虐待やDVの発生予防、早期発見に努めます。				1	
120			67	家庭児童相談事業	こども未来課	家庭児童相談員2名を配置し、子育てに悩みを抱えた親からの相談を受けます。また、学校や保育所(園)、幼稚園、認定こども園等からの相談や、子育て支援事業等を実施するなかで得た情報により、児童相談所や保育所(園)、幼稚園、認定こども園、学校、保健師等と連携を密にし、適切な支援に努めます。虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問の充実に努めます。	延家庭訪問件数	251	100	件	家庭児童相談員3名を配置し、子育てに悩みを抱えた親からの相談を受けます。また、学校や保育所(園)、幼稚園等からの相談や、子育て支援事業等を実施するなかで得た情報により、児童相談所や保育所(園)、幼稚園、学校、保健師などと連携を密にし、適切な支援に努めます。虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問の充実に努めます。				100	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
121			67	女性相談事業	こども未来課	女性相談員1名を配置し、女性が抱える人生のさまざまな悩みや、DVを受けたとき、セクシャルハラスメント、ストーカー被害、法律に関すること、離婚、金銭トラブルなどの相談に対応します。	延相談件数	207	243	件	女性相談員1名を配置し、女性が抱える人生のさまざまな悩みや、DVを受けたとき、セクシャルハラスメント、ストーカー被害、法律に関すること、離婚、金銭トラブルなどの相談に対応します。				243	
122			67	養育支援訪問事業《再掲》	健康推進課	こんにちは赤ちゃん訪問で継続支援が必要と思われる家庭をはじめ、虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への保健師等による家庭訪問を実施します。また、各関係機関と連携をより深め、情報の共有を徹底します。	延訪問件数	188	180	件	継続支援が必要なケースに対して、訪問を実施します。必要に応じて各機関と連携し、情報共有を行います。				180	量の見込みに基づく目標値設定
123			67	里親制度に関する情報提供の充実	こども未来課	児童相談所と連携し、市広報への掲載やパンフレットの配布等の啓発活動に努めます。	パンフレット等配布数	50	50	部	児童相談所と連携し、市広報への掲載やパンフレットの配布等の啓発活動に努めます。				50	
124			67	生徒指導推進事業《再掲》	学校教育課	SSW（スクールソーシャルワーカー）を配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のための連携を強化します。	活動日数	-	88	日	SSWを配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のために連携を強化します。				90	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画	
125	3.子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-2要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進	①支援を要する子どもへの取り組み	68	療育支援事業の推進	保育幼稚園課	障がい児保育や乳幼児の療育支援事業の推進を図るため、障がいのある児童が適切な療育や保育が受けられるよう、かしのみ園への入所(通所)の可否等を審査するための判定会を、年2回開催します。	開催回数	-	2	回	受け入れ児童の判定会を開催するなど、障がい児保育や乳幼児の療育支援事業の推進に取り組みます。審査会を年2回開催します。					2	
126				69	療育支援事業の推進	障がい福祉課	障がいのある児童の障害児通所支援事業等を行います。	延利用者数	2,253	2,253	人	保健・福祉・保育・教育の各担当が情報を共有し、現状把握に努めるため、療育支援担当者連絡会を開催します。					2,253	
127				69	要観察児、保護者等を対象とした遊びの教室(にこにこ広場)の開催	健康推進課	1歳6か月児・3歳児健診等で要経過観察となった母子等を対象に、継続支援の教室(にこにこ広場)を実施します。	実施回数	56	60	回	少人数のグループでの親子のふれあいを通じて、児の発達を促すとともに、保護者の不安軽減に努めます。心理相談員による個別の発達相談を実施し、必要に応じ早期療育へつなげます。					60	
128				69	伊賀市障がい者相談支援センター事業の充実	地域包括支援センター	身体、知的、精神障がいを対象とした、日常生活や福祉サービス利用にかかる相談・調整や支援の充実を図ります。	延相談支援件数	8,600	8,500	件	6人の相談支援専門員を配置し、障がいのある人及びその家族等からの相談に対応するとともに、障がい福祉サービスの利用等について調整を図ります。					8,700	
129				69	伊賀市子ども発達支援センター事業の充実	こども未来課	子どもの成長・発達に不安のある保護者や、保育所(園)、幼稚園、認定こども園、小・中学校等からの相談に対応します。また児童発達支援センター等の各関係機関と連携を図りながら、就学等ライフステージに応じた途切れのない支援が受けられるように支援します。	延相談件数	2,767	2,400	件	子どもの発達に不安のある保護者や保育所(園)、幼稚園、学校等からの相談に応じ、児童発達支援センター等関係機関と連携しながら、子どもの発達に応じた支援が受けられるよう取り組みます。					2,700	
130				69	伊賀市子ども発達支援センター事業の充実	保育幼稚園課	子どもの発達・成長に不安のある保護者からの相談に応じ、伊賀市子ども発達支援センターと連携して支援します。	箇所数	30	30	所(園)	子どもの発達・成長に不安のある保護者からの相談に応じ、適切な支援ができるよう連携を図ります。					29	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
131			69	伊賀市子ども発達支援センター事業の充実	健康推進課	各関係機関と連携を図りながら、ライフステージに応じた効率的な支援が提供できるよう、伊賀市子ども発達支援センターと事業内容の検討や勉強会等を実施します。	会議数	-	6	回	子ども発達支援センターと情報共有し、切れ目ない支援が行えるよう定期的に会議を行います。					6	
132			69	保育所（園）における家庭支援推進保育の充実	保育幼稚園課	家庭支援推進保育士を継続して配置することにより、日常生活における基本的な生活習慣等について、特に家庭環境に対する配慮を必要とする児童の保育と保護者の支援を行います。	箇所数	6	6	所（園）	家庭支援推進保育士を配置し、家庭訪問や個別の相談時間を設け、きめ細やかな対応をすることで保護者支援に努めます。					6	
133			69	放課後児童クラブにおける障がい児の受け入れ	子ども未来課	受け入れについて支援員を加配するなど、安心して利用できるような環境を整えます。	箇所数	18	17	箇所	心身に障がいのある児童の受入を推進するために指定管理者と協議を行い、受け入れ体制を整えます。					17	
134			69	障がい児に対する就学支援の充実	学校教育課	就学にかかわって、各小中学校と関係機関との連携を深め、巡回相談や教育相談を充実させるとともに、教育支援委員会につなげます。	教育支援委員会開催数	5	5	回	伊賀市子ども発達支援センターや伊賀つばさ学園等と連携し、巡回相談や教育相談を実施し、教育支援委員会につなげます。					5	
135			69	特別児童扶養手当の支給《再掲》	子ども未来課	身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。	受給者数	178	170	件	身体や精神に障がいのある20才未満の対象者について、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するための申請受付等を行います。					170	
136			69	障がい者医療費助成制度《再掲》	保険年金課	身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方に医療費を助成します。 ※障害者保健福祉手帳1級または2級の方は通院分のみ助成	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。					1,600	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
137	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-2要支援児童への自立支援の推進	70	母子・父子自立支援員や関係機関による相談・情報提供の充実	こども未来課	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行います。	延相談件数	250	300	件	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行います。				300	
138			70	伊賀市自立支援教育訓練給付金事業	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、仕事に必要な資格や技術を身に付けるため、就業に結びつく可能性の高い教育訓練講座の受講料の一部を支給し、ひとり親家庭の親の主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立の促進を図ります。	件数	1	1	件	資格取得を促すことにより、ひとり親家庭の安定した自立を促進します。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図ります。				1	
139			70	伊賀市高等職業訓練促進給付金事業	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、就職や転職に有利な資格（看護師・保育士等）を取得するため、養成機関で訓練を受ける場合に、その受講期間について促進給付金を支給します。また、養成機関への入学時における負担を考慮し、修了支援給付金をカリキュラム終了後に支給します。	支給月数	24	12	月	資格取得を促すことにより、ひとり親家庭の安定した自立を促進します。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図ります。				12	
140			70	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	こども未来課	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援します。	助成者数	0	1	件	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援します。				1	
141			70	母子寡婦福祉団体自主事業への支援	こども未来課	母子寡婦福祉団体等に対する活動支援及び連携に努め、ひとり親家庭や寡婦の自立促進に向けた取り組みを推進します。	自立支援員の配置数	1	1	人	伊賀市母子寡婦福祉会の母子家庭や寡婦の一層の自立促進と社会貢献、福祉の向上のための支援を行います。また、母子父子自立支援員を1名配置し、ひとり親家庭等からの相談体制を整えます。				1	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
142			70	一人親家庭等医療費助成制度《再掲》	保険年金課	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。				1,350	
143			70	ひとり親家庭の保育所(園)への優先入所の推進	保育幼稚園課	ひとり親家庭の就労や求職活動を支援するため、優先的な入所に取り組みます。	保育所(園)のひとり親世帯児童数	206	200	人	入所調整において加点するなど、優先的な入所に取り組みます。				200	
144			70	ひとり親家庭の放課後児童クラブの利用の支援	こども未来課	ひとり親家庭が地域のなかで安心して子育てと就労との両立が図れるよう、利用料の減免を行い、放課後児童クラブが利用し易い体制を整えます。	対象者数	56	58	人	一人親家庭等医療費助成受給世帯に対し、利用料金の減免を行い、より放課後児童クラブを利用し易い体制を整えます。				50	
145			71	ひとり親家庭の公営住宅の入居への優先資格制度の充実	住宅課	ひとり親家庭(母子)の生活支援として、公営住宅入居の優先入居制度を活用するよう情報提供し、周知を図ります。	抽選実施回数	2	2	回	市営住宅の入居者募集時に、ひとり親家庭(母子)の優先居住住宅を設定し、広報いが、ケーブルテレビ文字放送を通じて情報提供を行います。				2	
146			71	ひとり親家庭の公営住宅の入居への優先資格制度の充実	こども未来課	ひとり親家庭の生活支援として、公営住宅入居の優先資格制度の情報提供と、申請に必要なひとり親であることの証明書を発行します。	発行数	3	15	件	ひとり親家庭の自立支援の一環として、市営及び県営住宅の入居を希望される方へ入居の優先資格制度の案内と入居申請時に必要な「母子世帯証明書」を発行します。				15	

番号	基本 目標	基本 施策	頁	事業名	事業 実施課	事業内容	指標	R1 実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6 計画 目標値	備考	
									R2 目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2 実績			R2 評価
147			71	母子・父子寡婦福祉資金貸付金制度の充実	こども未来課	ひとり親家庭や寡婦の経済的自立や子どもの福祉を図るため、低利または無利子での各種資金の貸付について、相談を受けるなかで貸付制度の利用が適切と思われる方に対し適切につなげます。	貸付件数	10	5	件	ひとり親家庭や寡婦の経済的自立や子どもの福祉を図るため、低利または無利子での各種資金の貸付について、相談を受けるなかで貸付制度の利用が適切と思われる方に対し、適切につなげます。				5	
148			71	児童扶養手当支給事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。	受給者数	568	581	人	ひとり親家庭等が安定した生活を送れるよう、経済的な面から支援を行います。				532	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考				
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画		
149	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-2要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進	③外国につながる子どもと家庭への支援	71	学習支援教室「ささゆり」	市民生活課	関係団体やボランティアと協働し、外国にルーツを持つ児童生徒に、日本語による教科学習支援を行います。	指標化できない	948	-	人	伊賀市国際交流協会に委託し、毎週土曜日に実施します。					実績値については延利用人数を計上		
150				71	初期適応指導	学校教育課	初めて日本に来た、日本語指導が必要な児童生徒に、生活言語、学習言語、学校生活等について、集中的に学習指導するほか、在籍校では、加配教員、外国人児童生徒教育サポーターを配置し、学習のサポートを行います。	特別の教育課程による日本語指導実施率	-	90	%	外国人児童生徒の在籍校において「特別の教育課程による日本語指導」計画を作成し、対象児童生徒への支援を計画的、継続的に行います。					100		
151				71	高校進学等に向けた進路保障	学校教育課	「外国につながるをもつ子どもと保護者の進路ガイダンス」を実施し、児童生徒、保護者に対して進学に向けたサポートを行います。	参加者数	-	80	人	関係機関と連携し「外国につながるをもつ子どもと保護者の進路ガイダンス」を実施します。						250	
152				71	日本語を自然に学べる教育・保育の充実《再掲》	保育幼稚園課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	箇所数	30	30	所(園)	日本語を身近に親しめる保育環境を整えるとともに、毎週1回保護者と一緒に、或いは保育士と一緒に絵本を選ぶ貸し出しを実施します。						29	
153	71	日本語を自然に学べる教育・保育の充実《再掲》	学校教育課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	一人当たりの絵本貸出冊数	10	10	冊	保護者と一緒に絵本を選んだり、友だちと一緒に選んだりして、毎月1冊幼稚園の本を借りて家庭で読めるようにします。						12				
154	71	外国につながるのある保護者に対する相談体制の充実《再掲》	保育幼稚園課	外国につながるのある保護者に対し、おたよりの翻訳や相談時の通訳をするために通訳を配置します。	人数	1	1	人	外国につながるのある保護者に分かりやすいように、毎月のおたよりやクラスだよりの翻訳をします。また、相談時や家庭訪問時の通訳を実施します。						1				

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画	
155	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-3子育て交流の推進	①子育てネットワークづくり	72	関係機関の連携による子育て支援ネットワークの構築	こども未来課	子育て家庭に対して、きめ細やかなサービスや情報の提供が行えるよう民間の協力を得たリーフレットの配付や配置、市ホームページの充実にも努めます。	回数	-	12	回	子育て（包括）支援センターが発行する通信を、協力の得られる民間施設等へ月1回配布します。					12	
156				72	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）《再掲》	こども未来課	未就学児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。	延利用回数	-	29,178	回	各子育て支援センターで通信を発行して利用者への情報提供を図ります。また、子育て相談や各種教室を開催します。					25,398	量の見込みに基づく目標値設定
157				72	子育て包括支援センター事業《再掲》	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ①市内の子育て支援施設のネットワーク化を図るための会議を行います。	会議開催回数	2	2	回	子育て支援センター担当者会議を開催し、市内各子育て支援センターとの情報共有を実施します。					2	
158				72	子育て包括支援センター事業《再掲》	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ②子育てサークルの指導・育成、連携に努めます。	サークル登録団体数	0	5	件	ハイトピア伊賀の子育て団体登録を促し、登録団体の施設利用料を減免します。					5	
159				72	子育て包括支援センター事業《再掲》	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ③子育て支援講演会等の各事業を実施します。	講演会開催回数	1	1	回	ファミリースマイルアップ講座を開催します。					1	
160				73	子育て支援サークルの活動支援	こども未来課	子育て支援サークル活動の活発化を図るため、活動場所や活動に必要な情報提供等を行います。	サークル登録団体数	-	5	件	ハイトピア伊賀の子育て団体登録を促し、登録団体の施設利用料を減免します。					5	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
161			73	保育所(園)、幼稚園、認定こども園の行事や地域の行事を通じた園児と高齢者との交流推進	保育幼稚園課	子どもの豊かな心や思いやりの心が育つよう高齢者との交流を行います。	箇所数	30	30	所(園)	保育所(園)の行事に招待したり、積極的に地域の行事に参加して高齢者との交流を行います。				29	
162			73	地域住民と子どもや子育て家庭との交流の機会づくり	保育幼稚園課	保育所(園)において地域のボランティアと交流を行います。	箇所数	30	30	所(園)	保育所(園)に地域で活動しているボランティアにきてもらい園児と交流します。				29	
163			73	地域住民と子どもや子育て家庭との交流の機会づくり	学校教育課	幼稚園において、民生委員・児童委員、主任児童委員や地域のボランティアと交流を行います。	回数	2	1	回	地域のサロンの方と交流します。				1	
164			73	子どもの育成団体への支援	生涯学習課	家庭・地域・学校などが連携して青少年健全育成地域活動支援事業の助成を行い、青少年の健全育成活動を推進します。	団体数	2	1	団体	昨年度からの継続1団体が、青少年健全育成地域活動支援事業を実施します。				2	
165			73	児童館事業の充実(こども夏まつり)	しろなみ児童館	小学生と異年齢の保育所(園)、幼稚園、認定こども園の園児、就学前親子などが交流を持ち、親睦を深めることで、地域のつながりを強くします。	参加者数	320	250	人	交流事業として、地区文化祭やこども夏祭りの際に地域の異年齢児童と触れ合う機会を持ちます。				300	
166			73	児童館事業の充実(地区学習会)	しろなみ児童館	差別を解消する生き方を身に付けるために、人権・部落問題学習を進めます。	回数	165	210	回	自分たちの住んでいる地域のこと、友達との関係など生活上での課題について学習を進めます。				210	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
167			73	児童館事業（体験スクール）	まえがわ児童館	小学生を対象に、子どもたちが自分の将来の可能性を拓き、将来、社会のなかで自立していけることをめざして実施します。	延参加者数	792	1,000	人	毎週水曜日午後4時から5時まで、小学生を対象に実施します。将来の可能性を拓き、自立促進のための様々な体験や野外活動研修等を行います。					800	
168			73	児童館事業（チャレンジ教室）	まえがわ児童館	小学生を対象に児童館を拠点として、身体を動かし手先を使い、工作や調理の実習などを行い、仲間とともに活動することの大切さを学ぶため実施します。	延参加者数	114	250	人	毎週土曜日午後1時30分から3時まで、小学生を中心に実施します。工作教室等を実施し、子どもの居場所づくりに取り組みます。					200	
169			73	児童館事業（土曜開館）	まえがわ児童館	小学生を対象に、基礎学力の定着を図り学力の向上をめざしてつげっ子塾、また心身を鍛え仲間の輪の構築をめざしてスポーツ教室を実施します。	延参加者数	136	100	人	自主学習会を午前9時から10時まで実施し、家庭学習の定着に向けて学習を行います。					100	
170			73	児童館事業（音楽教室）	まえがわ児童館	中学生を対象に、楽器演奏を通して反差別の仲間作りをめざして実施します。	延参加者数	152	200	人	毎週水曜日午後6時から7時まで、楽器演奏を通しての仲間づくりをめざして実施します。夏まつりや解放文化祭において発表を行います。					200	
171			73	児童館事業（交流事業）	老川児童館	小学校や中学校から年1回訪問してもらい、人権学習の支援や体験、交流の場とします。	延利用者数	67	120	人	小学校3年生が来館し、青山文化センター（老川児童館）の趣旨と概要の学習と交流を行います。また文化センター文化祭に、小中学生が参加して発表を行います。					150	
172			73	児童館事業（講座・教室の開催）	老川児童館	青山小学校の児童を対象に多様な体験学習会を行います。	延利用者数	381	350	人	学校教育では経験できない体験学習や製作、スポーツ活動や人権学習などを通じて、心身ともに健全な児童の育成を図ります。					400	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
173			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	いがまち公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延利用者数	1,916	2,700	人	「都美恵の里郷土芸能保存会・都美恵太鼓」の練習参加や地域行事での太鼓演奏を通して、郷土芸能の継承と郷土文化に愛着を持ち、感性豊かな子どもを育成する活動を支援します。また、披露する機会を提供します。					3,000	
174			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	島ヶ原公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	175	180	人	獅子神楽の継承活動を行います。					200	
175			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	大山田公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	50	30	人	郷土文化等について学ぶ研修である「むらびと塾」の開催を予定しています。					40	
176			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	青山公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者	118	120	人	「夏休み子ども体験講座」を開催します。 「竹細工体験工房」を開催します。 「里山餅つき体験講座」を開催します。					130	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
177	3・子ども健全育成を推進するための体制づくり	① 非行防止の推進	74	青少年センターにおける補導活動の充実	生涯学習課	青少年の健全育成運動を推進し、地域社会全体で青少年の健全な育成に努めるため、街頭補導の充実を図るとともに、学校や各活動団体との情報交換を推進します。	巡回補導活動回数	308	310	回	関係機関の協力を得て、計画通り随時街頭補導活動を行います。				310	
178			74	有害環境浄化活動	生涯学習課	青少年の健全育成のため、街頭啓発を実施し、市民の協力を得て、有害環境の浄化・改善を推進します。	回数	12	2	回	関係機関と連携し、街頭啓発や啓発講演会を行います。				2	任命立入調査員の活動がR2.3月で終了したため、事業内容及び目標値を変更しました。
179		② 子どもの活動支援	75	伊賀市のなかでの地域間交流の推進	生涯学習課	家庭・地域・学校などが連携して、伊賀市の一体化した団体として青少年育成活動を推進します。青少年健全育成事業や家庭教育講演会において、児童の交流を促進します。	回数	2	2	回	社会教育委員との共催で家庭教育事業「いがファミリーフェスタ」を開催します。また、令和2年度伊賀地区こどもわかもの育成支援のための支部研修会を開催します。				2	
180			75	伊賀市のなかでの地域間交流の推進	スポーツ振興課	青少年健全育成事業やスポーツ少年団活動を通して児童の交流を促進します。	スポーツ少年団交流事業数	6	7	回	種目競技（バレー、野球、サッカー）の交流会を実施します。スポーツ少年大会、ミニ駅伝大会、スケート交流会等を実施します。				7	
181			75	ジュニアリーダーの育成・活用	スポーツ振興課	スポーツ少年団のリーダーとしての役割の理解や資質の向上を図り、将来のスポーツ少年団指導者を育成するため、スポーツ少年団リーダーの養成に組織的に取り組みます。	ジュニアリーダー数	2	5	人	会議や大会等でジュニアリーダーの募集を呼び掛けます。				10	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
182			75	子どもの活動を支援する団体の育成・支援	スポーツ振興課	少子化が進むなか、子どもの野外・文化・社会活動などを通じて協調性や創造性を養うことを目的とし、青少年の健全育成のためスポーツ少年団への加入を促進します。	小学校児童数に対する加入割合	21	20	%	全小学校児童に少年団の取り組みについてのパンフレットを配布し、団員を募集します。				25	
183			75	小学生・中学生の活動の場づくり	教育総務課	多くの地域住民や児童生徒が身近にスポーツが楽しめるよう市内全小中学校の体育館・グラウンド等を開放します。	開放施設数	31	30	校	学校施設の使用に関する規則等に基づき、市内小中学校の体育館・グラウンド等を開放します。				29	
184			75	児童館事業の充実（こども夏まつり）《再掲》	しろなみ児童館	小学生と異年齢の保育所（園）、幼稚園、認定こども園の園児、就学前親子などが交流を持ち、親睦を深めることで、地域のつながりを強くします。	参加者数	320	250	人	交流事業として、地区文化祭やこども夏祭りの際に地域の異年齢児童と触れ合う機会を持ちます。				300	
185			75	児童館事業の充実（地区学習会）《再掲》	しろなみ児童館	差別を解消する生き方を身に付けるために、人権・部落問題学習を進めます。	回数	165	210	回	自分たちの住んでいる地域のこと、友達との関係など生活上での課題について学習を進めます。				210	
186			75	児童館事業（体験スクール）《再掲》	まえがわ児童館	小学生を対象に、子どもたちが自分の将来の可能性を拓き、将来、社会のなかで自立していけることをめざして実施します。	延参加者数	792	1,000	人	毎週水曜日午後4時から5時まで、小学生を対象に実施します。将来の可能性を拓き、自立促進のための様々な体験や野外活動研修等を行います。				800	
187			75	児童館事業（チャレンジ教室）《再掲》	まえがわ児童館	小学生を対象に児童館を拠点として、身体を動かす手先を使い、工作や調理の実習などを行い、仲間とともに活動することの大切さを学ぶため実施します。	延参加者数	114	250	人	毎週土曜日午後1時30分から3時まで、小学生を中心に実施します。工作教室等を実施し、子どもの居場所づくりに取り組みます。				200	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
188			75	児童館事業（土曜開館）《再掲》	まえがわ児童館	小学生を対象に、基礎学力の定着を図り学力の向上をめざしてつげっ子塾、また心身を鍛え仲間との輪の構築をめざしてスポーツ教室を実施します。	延参加者数	136	100	人	自主学習会を午前9時から10時まで実施し、家庭学習の定着に向けて学習を行います。					100	
189			76	児童館事業（音楽教室）《再掲》	まえがわ児童館	中学生を対象に、楽器演奏を通して反差別的の仲間作りをめざして実施します。	延参加者数	152	200	人	毎週水曜日午後6時から7時まで、楽器演奏を通しての仲間づくりをめざして実施します。夏まつりや解放文化祭において発表を行います。					200	
190			76	児童館事業（交流事業）《再掲》	老川児童館	小学校や中学校から年1回訪問してもらい、人権学習の支援や体験、交流の場とします。	延利用者数	67	120	人	小学校3年生が来館し、青山文化センター（老川児童館）の趣旨と概要の学習と交流を行います。また文化センター文化祭に、小中学生が参加して発表を行います。					150	
191			76	児童館事業（講座・教室の開催）《再掲》	老川児童館	青山小学校の児童を対象に多様な体験学習会を行います。	延利用者数	381	350	人	学校教育では経験できない体験学習や製作、スポーツ活動や人権学習などを通じて、心身ともに健全な児童の育成を図ります。					400	
192			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	いがまち公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延利用者数	1,916	2,700	人	「都美恵の里郷土芸能保存会・都美恵太鼓」の練習参加や地域行事での太鼓演奏を通して、郷土芸能の継承と郷土文化に愛着を持ち、感性豊かな子どもを育成する活動を支援します。また、披露する機会を提供します。					3,000	
193			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	島ヶ原公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	175	180	人	獅子神楽の継承活動を行います。					200	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
194			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	大山田公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	50	30	人	郷土文化等について学ぶ研修である「むらびと塾」の開催を予定しています。				40	
195			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	青山公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者	118	120	人	「夏休み子ども体験講座」を開催します。 「竹細工体験工房」を開催します。 「里山餅つき体験講座」を開催します。				130	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
196	3.子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-5子どもをとりまく貧困対策の推進	①教育の支援	77	生活困窮世帯子どもの学習・生活支援事業	生活支援課	生活困窮世帯の小学生・中学生を対象に、教科の学習、生活習慣の改善など子どもと保護者の双方に必要な支援を行います。	利用者数	-	10	人	対象となる世帯を支援員が訪問し、子どもへの学習指導のほか、生活面の課題等について保護者と相談するなどの支援を行います。				14	
197				77	生活困窮者自立相談支援事業	生活支援課	生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、就労の支援、サービスや制度の利用に向けた関係機関との連絡調整や手続き支援、地域共生社会の実現に向けた地域づくりなど包括的な支援を行います。	新規相談者数	-	140	人	生活困窮者からの相談について、必要なサービスの利用や適切な関係機関へつなぐなどの支援を行います。また、包括的な支援に向けて庁内関係課と検討・協議します。				180	
198				77	生活困窮者家計改善支援事業	生活支援課	生活困窮世帯の家計の課題を把握し、自身で家計管理できるよう支援計画の作成等を行い、早期の生活再建を支援します。	利用者数	-	15	人	支援を必要とする対象者に対し、家計の課題に関する相談や改善点の指導等を行い、経済的な生活再建を支援します。				27	
199				78	地域食堂の設置への支援	医療福祉政策課	各地域において、児童を含む地域の人々の居場所づくりや世代間交流等を目的とし、貧困等課題を抱える児童に気づいた場合は関係支援機関につなげる役割も持つ地域食堂の設置を支援します。	地域食堂数	-	3	箇所	地域住民が主体的に行う地域食堂に対して、事業周知や社会福祉法人等の施設借用の手続き等、事業開催が円滑になるよう支援を行います。				3	
200				78	生徒指導推進事業《再掲》	学校教育課	SSW(スクールソーシャルワーカー)を配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のための連携を強化します。	活動日数	-	88	日	SSWを配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のために連携を強化します。				90	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
201	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-5子どもをとりまく貧困対策の推進	③保護者に対する就労の支援	78	就労支援事業の促進	商工労働課	働く意欲がありながらさまざまな就労阻害要因を抱えるため、就労が実現できない就職困難者を対象に、職業相談員による相談を通じ、求人情報の提供や職業訓練への誘導などの支援を関係機関と連携し実施します。	巡回回数	198	190	回	職業相談員による巡回相談を実施します。				200	
202				78	母子・父子自立支援員や関係機関による相談・情報提供の充実《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行います。	延相談件数	250	300	件	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行います。				300	
203				78	伊賀市自立支援教育訓練給付金事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、仕事に必要な資格や技術を身に付けるため、就業に結びつく可能性の高い教育訓練講座の受講料の一部を支給し、ひとり親家庭の親の主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立の促進を図ります。	件数	1	1	件	資格取得を促すことにより、ひとり親家庭の安定した自立を促進します。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図ります。				1	
204				78	伊賀市高等職業訓練促進給付金事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、就職や転職に有利な資格（看護師・保育士等）を取得するため、養成機関で訓練を受ける場合に、その受講期間について促進給付金を支給します。また、養成機関への入学時における負担を考慮し、修了支援給付金をカリキュラム終了後に支給します。	支給月数	24	12	月	資格取得を促すことにより、ひとり親家庭の安定した自立を促進します。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図ります。				12	
205				79	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援します。	助成者数	0	1	件	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援します。				1	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価		
206	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	④経済的支援 3・5子どもをとりまく貧困対策の推進	79	就学援助制度	学校教育課	経済的な事情で義務教育の費用にお困りの、所得条件該当者に対して、学用品費や給食費といった学校に納入した費用の一部を援助します。	就学援助人数	-	850	人	市民に広く周知し、提唱者が適切に援助が受けられるよう迅速に手続きを進めます。				900	
207			79	特別支援教育就学奨励費	学校教育課	経済的な事情で義務教育の費用にお困りの、特別支援学級在籍で所得条件該当者に対して、学用品費や給食費といった学校に納入した費用の一部を援助します。	特別支援就学援助人数	-	350	人	市民に広く周知し、提唱者が適切に援助が受けられるよう迅速に手続きを進めます。				400	
208			79	幼児教育・保育の無償化《再掲》	保育幼稚園課	幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳児から5歳児クラスまでの子ども、及び市民税非課税世帯の0歳児から2歳児クラスの子どもの対象に、幼児教育・保育の無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図ります。 また、3歳未満児クラスの保育料について、国制度を超えた第3子以降保育料無償化を引き続き実施します。	箇所数	-	42	所(園)	管内にある認可保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等（病児保育事業・子育て援助活動支援事業・預かり保育事業・一時預かり事業を含む）について幼児教育・保育の無償化を実施するとともに、伊賀市独自の第3子以降の保育料無償化を実施することで、子育て世帯の負担軽減を図ります。				41	
209			79	任意予防接種費用の助成《再掲》	健康推進課	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成します。	インフルエンザ助成数	4,937	4,800	件	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成します。				4,500	
210			79	児童手当支給事業《再掲》	こども未来課	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当等を支給します。	受給者数	5,813	5,815	人	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当等の支給を行います。				5,320	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
211			79	子ども医療費助成制度《再掲》	保険年金課	中学校修了までの子どもを対象に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	9,579	9,300	人	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学校修了までの子どもの医療費を助成します。				8,400	
212			79	児童扶養手当支給事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。	受給者数	568	581	人	ひとり親家庭等が安定した生活を送れるよう、経済的な面から支援を行います。				532	
213			79	一人親家庭等医療費助成制度《再掲》	保険年金課	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。				1,350	
214			80	特別児童扶養手当の支給《再掲》	こども未来課	身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。	受給者数	178	170	件	身体や精神に障がいのある20才未満の対象者について、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するための申請受付等を行います。				170	
215			80	障がい者医療費助成制度《再掲》	保険年金課	身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方に医療費を助成します。 ※障害者保健福祉手帳1級または2級の方は通院分のみ助成	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成します。				1,600	
216			80	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業《再掲》	こども未来課	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、その利用料を助成します。	件数	25	20	件	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、申請に基づき利用料の助成を行います。				20	

4.仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
217	4・仕事と生活の調和	4-1 職業生活と家庭生活の両立支援	①ワーク・ライフ・バランスの推進	81	企業（職場）の理解を促進する情報提供の充実	商工労働課	企業訪問等により人事担当者などと面談を行いワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施します。	企業訪問数	258	270	件	企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聞き取り調査を実施し啓発を行うとともに、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進します。				290	
218				81	働き方の見直しに関する労働者の意識啓発の推進	商工労働課	労働者向けのセミナーなどを開催します。	会議回数	1	1	回	企業・事業所に対し、経営者や管理職等を対象とした労働者向けのセミナーなどを開催します。				1	
219				81	子育てを支援する各種制度の情報提供の推進	健康推進課	妊娠・出産時から子育て支援情報を提供するため、母子健康手帳の交付時とこんにちは赤ちゃん訪問時に「母子保健事業のご案内」を配布します。	配布数	545	554	部	妊娠・出産時から子育て支援情報を提供するため、母子健康手帳の交付時に「伊賀流未来応援の術」を配布し、こんにちは赤ちゃん訪問時には母子保健事業の情報提供をします。				502	
220			②子育てしやすい就労環境の整備	82	労働時間の短縮	商工労働課	すべての労働者が職業生活や家庭生活及び地域活動にともに参加できるよう、事業所に対して労働時間短縮に向けた啓発を実施します。	企業訪問数	258	270	件	企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聞き取り調査を実施し啓発を行うとともに、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進します。				290	
221			82	育児休業制度の普及	商工労働課	育児休業制度の定着を図り、利用しやすい環境づくりを企業とともに進めます。	企業訪問数	258	270	件	企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聞き取り調査を実施し啓発を行うとともに、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進します。				290		
222			82	就労支援事業の促進《再掲》	商工労働課	働く意欲がありながらさまざまな就労阻害要因を抱えるため、就労が実現できない就職困難者を対象に、職業相談員による相談を通じ、求人情報の提供や職業訓練への誘導などの支援を関係機関と連携し実施します。	巡回数	198	190	回	職業相談員による巡回相談を実施します。				200		

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
223	4・仕事と生活の調和	4-1 職業生活と家庭生活の両立支援	③ 男女共同参画による子育ての推進	82	男女共同参画フォーラムの開催	人権政策課	男女共同参画社会実現に向け、フォーラム開催時に男性の子育てへの参画を啓発します。	参加者数	381	350	人	男女共同参画社会実現に向け、「さあ、一歩。誰もが秘めてる 生き抜く強さで！」をテーマにフォーラムを開催します。				360	
224				82	男女共同参画センター情報紙「きらきら」等を通じた意識啓発の推進	人権政策課	年4回発行の男女共同参画センター情報紙「きらきら」等を通じ、家庭や子育てにおいて男女がともに参画することの重要性の理解を深めます。	発行回数	4	4	回	男女共同参画に関する内容のコラムや、市が実施する講座事業について取り上げます。家庭においての男女共同参画の重要性について啓発を行います。				4	
225				82	男性講座や出前講座の開催	人権政策課	男性講座や出前講座を実施し、男性が育児に関する知識を学習する機会を提供します。	回数	4	4	回	イクメン講座や料理教室など、男女共同参画の視点に基づいた講座を開催します。				4	
226				82	ウェルカムベビー教室（両親学級）《再掲》	健康推進課	妊婦とその夫や家族を対象に、妊娠・出産に関する講話や妊婦体験、沐浴、心音聴取などの体験と情報交換の場、仲間づくりを目的として、土・日曜日に教室を開催します。妊娠中の生活、出産や育児について理解を深め、夫や家族の協力を得ることで家族が育児に積極的にかかわれるよう支援を行います。	参加者数	85	80	組	妊婦とその家族に対して、妊婦体験や沐浴実習などの体験、赤ちゃんのいる生活や産後うつ予防の話、DVDの視聴などを通じて、出産や育児について理解を深めてもらいます。				80	

計画の目標値等

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
227	計画の目標値等	2・幼児期の学校教育・保育	85・86	①1号・2号認定【3～5歳】	保育幼稚園課	3～5歳児で保育の必要性がない子ども（主に、専業主婦（夫）または短時間のパートタイム就労の家庭など）に対し、就学前教育を実施します。	幼稚園就園者数	260	204	人	3～5歳児で保育の必要性がない子ども（主に、専業主婦（夫）または短時間のパートタイム就労の家庭など）に対し、公立幼稚園、私立幼稚園、私立認定こども園において就学前教育を実施します。					179	量の見込みに基づく目標値設定
228			87	②2号認定【3～5歳】	保育幼稚園課	3～5歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。	入所者数	1,602	1,662	人	3～5歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、公立保育所、私立保育所、私立認定こども園において保育を実施します。					1,461	量の見込みに基づく目標値設定
229			88	③-13号認定【0歳児】	保育幼稚園課	0歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。	入所者数	161	228	人	0歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、公立保育所、私立保育所、私立認定こども園において保育を実施します。					206	量の見込みに基づく目標値設定
230			88	③-23号認定【1・2歳児】	保育幼稚園課	1・2歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。	入所者数	645	817	人	1・2歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、公立保育所、私立保育所、私立認定こども園において保育を実施します。					746	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
231	計画の目標値等	3・地域子ども・子育て支援事業	90	①時間外保育事業（延長保育事業）《再掲》	保育幼稚園課	11時間の開所時間を超えて保育を実施します。	利用者数	18	20	人	公立保育所（園）9か所、私立保育所（園）8か所の計17か所で実施します。				18	量の見込みに基づく目標値設定
232			91	②放課後児童健全育成事業《再掲》	こども未来課	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図ります。	利用者数	低学年 463 高学年 83	低学年 658 高学年 85	人	共働き家庭が増えるなか、昼間保護者がいない児童の健全育成を図るため、適切な遊びや生活の場を提供し、希望する子どもが利用できるように努めます。また、待機児童の解消や未設置校区児童の利用について検討を行います。施設整備について、学校施設等の活用を検討します。				低学年 611 高学年 103	量の見込みに基づく目標値設定
233			92	③子育て短期支援事業（ショートステイ）《再掲》	こども未来課	保護者の病気などの理由により、養育が一時的に困難となった場合や緊急一時的に保護を必要とする場合に、児童養護施設などで子どもを一時的に養育または保護します。	延利用者数	27	6	人日	家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設において一定期間、子どもを養育又は保護し、子ども及びその家庭の福祉向上を図ります。				6	量の見込みに基づく目標値設定
234			92	④地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）《再掲》	こども未来課	子育て支援の拠点として、親子が気軽に集える場の提供と、子育ての負担感の軽減と不安感の解消をめざし、子育て相談や情報提供を行います。	延利用回数	-	29,178	回	各子育て支援センターで通信を発行して利用者への情報提供を図ります。また、子育て相談や各種教室を開催します。				25,398	量の見込みに基づく目標値設定
235			93	⑤-1-一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）《再掲》	保育幼稚園課	幼稚園在園児の保護者の就労時間等の都合によって、降園時間後も引き続き預かります。	延利用者数	4,753	11,712	人	幼稚園及び認定こども園において、在園児の保護者の申出によって、降園時間後も引き続き預かり保育を実施します。				10,294	量の見込みによる目標値設定のためこれまでの実績との隔たりが大きい。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
236			94	⑤-2幼稚園以外での一時預かり事業（ファミリー・サポート・センター事業含む）	保育幼稚園課 こども未来課	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった子どもを一時的に預かります。	延利用者数	3,684	3,150	人	ハイトピア伊賀4階の子育て包括支援センター内に事務所を移転し、直営で実施しています。				2,827	量の見込みに基づく目標値設定
237			95	⑥病児・病後児保育事業《再掲》	こども未来課	保護者の就労等の都合により、病気の回復期にある集団保育を受けることが困難な子どもを、専用施設で一時的に預かり安静を確保し保育します。	延利用者数	79	129	人	病児・病後児保育（くまさんルーム）を設置し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。				326	量の見込みに基づく目標値設定のためこれまでの実績との隔たりが大きい。
238			96	⑦ファミリー・サポート・センター事業（就学児）	こども未来課	家庭において子どもの世話が一時的に困難となった小学生を一時的に預かります。	延利用者数	9	40	人	ファミリー・サポート・センターにおいて、放課後児童クラブ終了後等に保護者が小学生を監護できない時間帯に提供会員を派遣します。				35	量の見込みに基づく目標値設定
239			97	⑧利用者支援事業《再掲》	健康推進課	教育・保育施設や地域子ども子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報提供や相談、助言等を行います。	箇所数	1	2	箇所	妊娠中からの切れ目のない支援システムの整備を行い、ケースの支援計画作成と関係機関との連絡調整を行います。母子保健及び子育て支援コーディネーターが情報共有を行います。				2	量の見込みに基づく目標値設定
240			98	⑨乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）《再掲》	健康推進課	生後4か月までの乳児がいる家庭を、助産師または保健師が訪問し、子育てに関する相談や支援が必要な人への、適切なサービスの提供につなげています。	件数	545	544	件	生後4か月までの乳児の家庭を全戸訪問します。育児不安や育児環境等の確認を行い、相談に応じるとともに、必要な家庭に対しては支援につなげます。				492	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価
241			98	⑩養育支援訪問事業《再掲》	健康推進課	養育支援が特に必要な家庭に対し、適切な養育の実施を確保するため、保健師、家庭児童相談員などが訪問し、養育に関する指導、助言、育児援助等を行います。	延訪問件数	188	180	件	継続支援が必要なケースに対して、訪問を実施します。必要に応じて各機関と連携し、情報共有を行います。				180	量の見込みに基づく目標値設定
242			99	⑪妊婦健康診査《再掲》	健康推進課	安心して妊娠、出産ができるよう妊婦健康診査にかかる費用を助成することにより、妊婦の健康管理の充実を図ります。	受診者数	7,002	7,560	人	14回分の健診費用を助成します。				6,860	量の見込みに基づく目標値設定